

ワクティブ通信

第21号
2025.10



今月の表紙

たになか

谷中

かのん

香音さん（学生団体Dream）

学生団体Dreamは夏休み中に中～大学生が小学生の宿題をサポートする学習室や、学生主体の音楽イベントなどの企画・運営を通して、一人でも多くの方に夢と笑顔・居場所を届けることを目的に活動しています。現在、6名が在籍。

私のモットー

勇気は、一瞬
後悔は、一生

谷中 香音

活動をはじめたきっかけ

団体の立ち上げは私が17歳の時です。もともとは1人でやりたいことをやろうと思っていました。でも、いろんなことをやっていくと大きいこともやりたくなってきて、サポートしてくれる人が欲しいなとか誰かと一緒にやりたいなという気持ちが強くなって、団体を立ち上げました。メンバーは同級生がほとんどで、初めは基本的に私の知っている子が集まった感じでしたが、今では地元の高校生が活動に参加してくれることもあります。

地域の活動に興味を持った

幼少時代

私が小学校の頃から父が区長をやっている、その仕事を見ているうちに地域

の活動って楽しそうだな、と思うようになりました。高校1年生の時に桃花台が少子高齢化で大変だという話を聞き、得意なSNS等で役に立てられればと”桃花台を考える会”に入会しました。その頃”東海学生アワード”というプレゼン大会を知り参加した結果、誰かと何かをやればなんでもできる！と思ったことも団体をつくったきっかけの1つです。

活動のなかで変化してきた想い

当初はSDGsを広めるなにかをやりたいという思いもあったんです。でも今は多くの人が知っていたり関心を持っている世の中になりましたね。それもあって、次第に誰かの居場所になれる団体にしたいなと想いの変化がしてきました。学生の子たちが自ら経験して楽しめて、いろんな人のつながりができて、知らないうちに誰かを助けられていたらそれもいいですね。



Dreamの今後とわたしの夢！

実は近い将来、団体の代表を交代する予定なんです。最初は交代するのは嫌だと思っていましたが、今は嬉しいです。私は初代の代表なので強い想いがありますが、2代目以降はまた違う。でも違うなりに若い子たちが自分たちで問題を突破してってくれるのなら、と。この団体が若い子たちが挑戦できる場所として残ってほしいです。わたし自身の人生の最終目標はアフリカに学校を建てること！来年からはいろんな国を巡って学校を建てる場所を考えたいと思っています。

こどものまちを開催しました！



9月6日(土)7日(日)に小牧勤労センターで、わかもの担い手育成事業「こどものまち」を開催しました。「こどものまち」とは、日本で200か所ほどに広がっている「まち」を模した遊びのプログラムで、日本国内で継続的に取り組まれています。こどもたちの発想で仮想のまちを創り、こどもの創造性や主体性を育み、社会の仕組みを学ぶキャリア教育事業です。

ワクティブこまきの「こどものまち」では、1日約150名の小学生の参加者を迎える企画運営の中心を中学生と高校生～20代の若者に担っていただくことで、若者の社会貢献活動への参画を促すきっかけづくりをしています。こども、そして若者のまちづくりへの関心を高め、小牧市の抱える課題の一つである「若年世代の人口減少」と、市民活動団体の抱える「社会貢献に取り組む担い手不足」の課題解決を目指しています。

本番のようす

本番ではボランティア含め1日目は158人、2日目は162名に参加していただきました。こどもたちはいろいろなお店で働いて、仮想通貨を使ったお給料をもらって税金を払い、自分で稼いだお金で遊ぶという社会のしくみを体験しました。起業ブースや市長・議員選挙や裁判などもあり、大いに盛り上がりました。



自分で考えてモノを販売する起業ブースのようす



政見演説で“こんなまちにしたい”と宣言する立候補者たち



本物の選挙道具を使って投票するこどもたち

中学生リーダーの事前準備

基盤ブース（市役所やハローワーク等のまちの基盤となる仕事）の内容をより良くするために、議会や税務署などに職場見学に行き、実際に働く人の話を聞いてこどものまちに反映させました。



小牧市議会の議場で話を聞く



小牧税務署の署長から話を聞く

実行委員会（高校生～若手社会人）の事前準備

全5回の実行委員会で、前年度の課題の修正や新たなアイデアの提案など、当日参加するこどもたちが楽しみながらまちのしくみを学べるように、裏方としてサポートしてくれました。

まちの仕組みについて話し合う実行委員会メンバー



オトナのちょこボラカレッジ を実施しました！

定年退職後のアクティブシニア世代を主な対象とし、「自分らしく生きること」や「新たな生きがいを見つける」ための一つの選択肢として、地域貢献活動の可能性を参加者自身が考え、次の一步を踏み出すきっかけとなることを目的として開催しました。（7～8月に4回開催）

●第1回『これまでと、これから。』～“わたし時間”の再スタート～

これまでの人生を振り返り、今後の時間の使い方をやわらかく考え、自分を語り、人の話を聴く安心感のある対話からスタートしました。



●第2回『地域で動く、魅力的な人たち』～地域活動をしている人の紹介～

実際に地域活動をしている団体のメンバーに来ていただき、活動紹介をしていただいた後に、参加者と対話形式で活動をしていて嬉しかったことや始めたきっかけなどを直接話していただきました。



第1回
対話で自分を振り返るワークショップ



第2回
団体のメンバーから話を聞く参加者



第3回
ボランティアの現場にて

●第3回『まちと関わる、小さな体験』～まずやってみることから始まる、見えてくる～

第2回で話を聞いた団体の活動を実際に体験していただきました。
まずは、一度経験してみることで、ボランティアへのハードルがぐっと下がったかと思います。

●第4回『はじめの一步』～“これから”を描いて、誰かと共有する～

最終回は、もう一度自分のことを振り返っていただき、これからの人生でやっていきたいことや生きがいを見つけるワークショップを行いました。

4回の講座を終えて参加者のみなさんからは、「自分のこれから 相手からもらう喜びが広がった」「ボランティアを身近に感じられるようになった」などのご感想をいただき、実際に体験したボランティアへ引き続き参加する方もいました。ボランティアへの一步目を踏み出すきっかけとなる事業となりました。

ボランティア情報配信LINEを活用しませんか？

ワクティブこまきでは、公式LINEアカウント「ボランティア情報配信LINE」を運営しています。ボランティアに関心のある方に公式LINEを友だち登録していただき、その方たちに団体や市からのボランティア募集情報をお送りするという仕組みです。

現在は900名以上のボランティアに関心のある方の登録があります！
ワクティブこまきの登録団体で、ボランティア活動をしている団体であれば、所定の申請書を書いていただくことでボランティアの募集情報を掲載できます。



ボランティア情報配信
LINEはこちらから登録・
閲覧できます！

こんなボランティア募集情報を流しています！

● イベントなどのボランティア募集

- ・ イベントの受付ボランティア
- ・ 着るみに入ってくれるボランティア
- ・ 遊びやワークショップのブースのサポートボランティア
- ・ イベントの準備や片付けのボランティア



● ボランティアの体験会や説明会の参加者募集

- ・ ボランティア体験会、活動体験会
- ・ ボランティア募集のための説明会やセミナー

【Memo】わざわざ体験会を設けなくても、普段の活動日を体験日として設定し、説明などができるようにしておくだけでも参加してみたいと思う人の入り口になります！

● もくもく作業系のボランティア募集

- ・ 千羽鶴制作
- ・ 食品仕分け作業
- ・ チラシ仕分け作業

【Memo】作業系のボランティアは「体力には自信がないけど、室内の作業なら！」という方もいて、意外にも人気があります。団体のメンバーだけでやるのは少し大変…という作業があればボランティアを募集し、ついでに活動についても関心を持ってもらえたら一石二鳥ですよ！

ボランティア情報配信LINEでの情報配信申込については、ワクティブこまきまで！



小牧市の市民活動に関することは ワクティブこまきへご相談ください！

活動する団体を探したい 助成金を探している 活動の困りごとを相談したい 活動する場所を探している

何でも気軽にどうぞ!!



こまき市民交流テラス ワクティブこまき 〒485-0041 小牧3-555 ラピオ2階
☎ : 0568-48-6555 FAX : 0568-48-6556 ✉ : wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp
開館日 : 月～土/10時～21時 日/10時～17時30分
休館日 : 第3火曜日とその前日の月曜日 (月曜日が休日の場合は営業、水曜日が休館)